

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		さばーとハウス和音（放課後デイサービス）			公表日		R8 年 3 月 24 日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8			子ども5人に対して職員1名の配置になっているが、それが難しい場合もある。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8			構造化を行うことで、だれもが過ごしやすい環境をもっと工夫しなければならない。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8			ナゾジューでの空間やおもちゃの消毒を毎日行っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8			子どもの体調や病気などにも配慮して、部屋を分けたりしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8			目標に対しての支援をもっと行っていくべき。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			保護者の意見が匿名で尊重できるように、事業所独自のアンケートなどの実施をしていくべき		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			全職員が意見しやすい環境や、支援の把握などをもっとおこなっていく。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8					
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8			研修に行くことで職員の質の向上をおこなっている。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8			支援プログラムの公表を行っている。		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8			子どものニーズについてしっかりとかんがえていく。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8			なかなか時間をしっかりと取れないのが現状ではある。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8			共有をしっかりと行っていく。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8			現状把握について違うものもできないか考えていく。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8			項目を確認しながら作成を行っている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8			保育士がチームになって行えている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8			もっと他の活動などにも取り組んでいきたい。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		プリント課題などを行うことで、個別の支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		朝礼（昼礼）を行い、今日の予定や重要事項をはなしあっている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	4		送迎で職員がそろっていないことがある。その時に、しっかりと伝達を行いながら支援をしている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		子どもの排泄などの時間を共有するために、ホワイトボードの利用を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			時間や送迎が変更があった際に変更をおこなう。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	8		支援だけではなく、余暇の時間も大事にしながら支援をおこなっている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		絵カードを準備することで、意見を言いやすいようにしている	もっと絵カードを増やして、気持ちをきいていくべき。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			しっかりと会議の報告を行っていく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		保護者を通して確認をおこなっている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8			就学後は、なかなか情報共有を行いにくいのが、積極的におこなっていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8			今年度対象者なし
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8		同じ敷地内にセンターがあるため、助言をいただいている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	8		子ども食堂にて、地域の高齢者との関りがあるが、子どもとの活動は少ない。同じ施設内の事業所との関りはある。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		子どもの様子を伝え、情報を伝えることで家ではどうしているのかをきき、支援につなげていっている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	7	チラシなどがある場合は掲示をおこなっている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			契約時に説明をおこなったが年に1回説明できるようにしていきたい。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		相談員にも話をおこなったり、相談員との共有もできやすい環境である。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8			きょうだい同士で交流は難しさはあるが、行事等で役員になった際に、交流している姿を見る。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		すぐに対応できるように心がけている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8			もっとSNSを活用し、事業所での様子を伝えていきたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			更に良いものがないか考えながら支援を行っていく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		壁面に対応方法などを掲示することで職員全体が把握出来るようにしている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		避難訓練の実施を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		てんかん時のマニュアルを作成している。緊急で電話が出来るように、電話の所に設置している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8			医師の指示書などがないが、保護者より情報をもらっている
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		すぐにヒヤリハット等を作成し、再度起きない様に対策を行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		毎年、法人内の職員が虐待防止研修に行き、施設内の報告研修を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		契約時に説明をおこなっている。		